

第4号

すだち

発行：
高次脳機能障害
徳島家族会
住所：
徳島市上助任町大坪
173-1
電話：088-655-9105

広げよう、地域に根ざした、支えあいの輪

第2回「すだち」家族会総会を開催

◇◇◇ 会員の交流を深め／要望実現に向けて ◇◇◇

第2回「すだち」総会が、2009年1月25日13時30分から、徳島県立身体障害者プラザの交流会場で開かれました。

総会に先立って、高次脳機能障害支援ネットワーク四国ブロック主催の「高次脳機能障害支援・対応・ケア」に係わる医療講演会と、四国の各県からの参加者による交流会も開催されました。総会は会員・家族等が出席して、はじめに「見えない障害」と言われる脳障害の障害者を抱える家族が、一昨年情報の交換、交流の場として家族会を結成、年間の活動内容が報告され、続いて交流の場として取り組んで行く活動が確認されました。



経過報告

- 1)会員の要望事項集約を行いました。
具体的な成果・解決には至ってないが、組織としての運動の重要な基礎を作ることができました。
- 2)家族間の懇親交流集会を開催、役員会議を基に事業実施委員会を設置し、野外カレー交流会・すだち販売・たらいうどん交流会を行い、会員間の交流を図ってきました。
- 3)組織整備 ①全国組織（脳外傷友の会）に準会員として加入 ②班組織の確立 ③定例会議の開催 ④役員会議の開催 ⑤組織運営財政の確立を図ってきました。
- 4)学習とリーフレット配布宣伝活動
①3回の季刊誌の発行②定例会議を合わせた学習会を開催しました。

今後のとくみ

- 1)要望事項の実現にむけて：特に、就労・就学等障害者の社会復帰に向けた取り組みを進めていきます。
- 2)組織運営について：①役員会議の開催 ②定例会議の開催 ③事業実施委員会の活動 ④班会議の開催 ⑤「すだち」を法人化に向け協議等進めます。
- 3)社会復帰の取り組み強化：①実態に合った就労場所の開拓に努めると同時に、「訓練的就労」場所の提供と支援を訴えていきます。②就労等社会復帰について先進的な活動組織の経験を学び活動に生かしていきます。
- 4)学習活動と宣伝：①医療学習会の開催、特に障害者を抱える家族への支援についても学習します。②充実した季刊誌の発行に努力し、年3回の発行を基本にして号外、特別号も発行、会員さんへ情報提供をおこないます。③「改定版」リーフレットを発行し、広く県民に高次脳機能障害の実態を知らせます。
- 5)活動財政：①活動財政の基本を会費、寄付金で賄い、寄付金活動を進めます。②各助成金制度等を検討し申請を行っていきます。

私たちの要望

1. 高次脳機能障害者に対する、特有の障害手帳の発給。県内の高次脳機能障害者に対し障害手帳の発給状況を明らかにし、手帳3区分(身体障害、知的障害、精神障害)の関係を明らかにしていただきたい。
2. 高次脳機能障害者に対する具体的な支援事業を明らかにしていただきたい。
3. 高次脳機能障害者の就労訓練場所を整備して社会復帰への道を広げていただきたい。
4. 4行政窓口障害専門の担当職員を配置し、高次脳機能障害等障害についての理解を深めていただきたい。
5. 高次脳機能障害リーフレットを市町村窓口にも広く交付掲示していただきたい。
6. 高次脳機能障害のリハビリ指導員制度、在宅指導の整備を図っていただきたい。
7. 高次脳機能障害の認定基準を確立し、医療助成、生活指導につなげていただきたい。
8. 障害者の就労訓練の一環として習字等習い事の可能な施設整備と指導員の配置を図っていただきたい。



★★支援・対応・ケア★★ 徳島県高次脳機能障害講演会が開かれる

1月25日(土)徳島県立障害者プラザにおいて、徳島県高次脳機能障害講演会(高次脳機能障害支援ネットワーク四国ブロック主催)が開かれました。

はじめに、徳島大学病院脳神経外科永廣信治教授から「高次脳機能障害に対する地域支援ネットワーク」と題しての講演があり、映像を使って分かりやすく説明をしていただきました。障害者が増加し、社会の認識が少しずつ進んでは来ているものの、まだまだ本当の支援状況にはなっていない現状をさまざまな角度から検証されていることを話されました。そして、高次脳機能障害の診断基準、高次脳機能障害の特徴、脳の構造と機能、診断基準を示し、そうした中での支援が必要だということや高次脳機能障害支援普及事業が進められていること、また四国地域での活動を報告されました。

続いて、東京慈恵会医科大学リハビリテーション科橋本圭司講師による講演では、「生活を支える高次脳機能障害リハビリテーション」と題して、東京都が実施した実態調査を基に全国では、50万人もの高次脳機能障害者がいることが推察されるが、そうした高次脳機能障害にどのように対応するか、リハビリテーションの鍵は、「神経心理循環をいかにコントロールできるか」に係っていることを話されました。そしてリハビリのデモンストレーションが

参加者対象に行われ、正面に半円形に椅子を10脚準備、障害当事者、家族、行政担当、医療関係者が座っての具体的な実践指導が公開されました。

おにぎり交流会

ひき続き、四国の家族会交流会議が持たれ、障害当事者・家族を中心に参加、永廣教授、橋本講師にも参加をお願いしました。お昼ごはんとして事務局が準備した「おにぎり」を食べながらの交流会は、障害者を抱える家族間の懇親を深めることとあわせて、先生方から悩みや、疑問点、今後の社会への係わり方についてアドバイスを受けました。



★★研修や講演会に参加して訴える★★ 高次脳機能障害の理解と、家族会活動への支援を！！

◇三木副会長が家族会活動を訴え◇ 《県南部県民局主催医療研修会》

去る1月24日徳島県南部総合県民局保険福祉環境部主催の精神保健福祉等関係者研修会が開かれ、高次脳機能障害徳島家族会三木副会長が家族会「すだち」の活動実態を話し、今後の活動に対する支援の訴えを行いました。

研修会には海陽町、牟岐町、美波町の訪問看護師ら40余名が参加し、岩城クリニックの兼田医師、城西病院森精神保健福祉士から医療講演が行われました。

◇岩垣会長が家族会活動を紹介◇ 《高次脳機能障害支援普及研修会》

3月16日徳島保健所において、石元徳島精神保健福祉センター所長による「高次脳機能障害の理解のために」と題して、医療・行政関係者等が参加して研修会が開かれ、席上高次脳機能障害徳島家族会会長岩垣氏が、障害に対する理解と「すだち」の活動に対しての協力を訴えました。

また同研修会は、2月20日に土成保健センターで、3月19日には吉野川保健所で開かれ、吉野川保健所伊原氏の講演と、「すだち」から岩垣会長が家族会に対する支援を訴えました。

◇三好保健所でも講演会◇

2月27日三好保健所において、高次脳機能障害の講演会が開催され、西部ブロックの家族会会員も参加、新しいパンフレットを配布し理解と支援を訴えました。

講演会は、「高次脳機能障害の支援の実際～支援体制に関する実態調査から」として、かがわ総合リハビリテーションセンターの森川支援コーディネーターの講演と、「高次脳機能障害におけるリハビリテーション」と題して、NPO 法人高次脳機能障害総合支援センター「サンガ」の北出氏の講演がありました。

うれしい お知らせ

★労金助成金★

このたび、労金より助成金20万が交付されました。わずか一年間の活動実績ですが、精一杯会員の皆様が共に歩んできた昨年の活動を認めていただいたようで大変うれしく思いました。助成対象活動事業は、徳島家族会・定例会議に外部講師を招集して、会の充実や今後の活動など有効に活用を図りたいと考えています。

初の西部班 会議

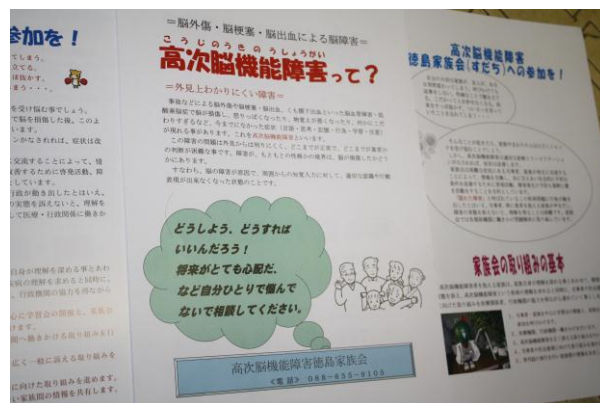


2月13日、すだち西部班は、井川ふるさとセンターで初めての家族会班会議を開きました。西部班は美馬、三好に3家族で組織されていますが、当日は徳島家族会役員と、三好保健所からの参加があり、5名での顔合わせ会になりました。初めに班会議のあり方について、総会確認をして、参加者の自己紹介、今後の会の持ち方について話し合いました。終了後参加できなかった会員さんの家に代表が訪ねていって近況を、特に班会議の様子を伝えました。

お知らせBOX

☆☆家族会リーフレット改定☆☆

徳島家族会ではリーフレットを1月に改定しました。改訂版は旧リーフレットをもとに、支援団体「徳島精神保健福祉士」からの支援協力も得られることになりましたので記載しています。カナを付けたり文字を大きくして見やすく編集しました。会の普及宣伝にぜひ活用を！



☆☆図書室「すだち」☆☆徳島家族会では、高次脳機能障害に関する図書を紹介しています。貸し出しを行っているので読んでみたい本があれば事務局まで連絡ください。088-655-9105

書籍名	副題	著者
一緒に歩こう	高次脳機能障害	高橋コウ著
それでも脳は学習する		山田規敏子著
壊れた脳・生存する脳		山田規敏子著
高次脳機能障害の世界	私の思うリハビリや暮らしの事	山田規敏子著
オーバイマイヘット	脳外傷を超えて新しい私に	クローディア・オズボーン
脳外傷第2版	高次脳機能障害を生きる人と家族のために	脳外傷友の会編
脳は甦る	音楽運動療法による甦生リハビリ	野田・後藤著
生きてもええやん	脳死を拒んだ若者たち	若者と家族会編
加害者天国ニッポン	交通死・重度後遺症被害者は告発する	松本誠著
頭部外傷症候群	後遺症のマネージメント	岩倉博光・岩谷力・土肥編
脳外傷の社会生活を 支援するリハビリテーション		安倍川順子著
高次脳機能障害と リハビリテーション		千野真一・安藤徳彦編
家族でできる脳のリハビリ	注意障害編	中島恵子著
脳外傷		神奈川
リハビリテーションマニュアル		リハビリテーションマニュアル編集委員会
高次脳機能障害	言語・聴覚療法シリーズ 3	長谷川賢一編
高次脳機能を鍛える		橋本圭司著
高次脳機能障害がわかる本	対応とリハビリテーション	橋本圭司著
高次脳機能障害、どのように対応するか		橋本圭司著
生活を支える高次脳機能リハビリテーション		橋本圭司著
高次脳機能・バランス	CD-ROM	橋本圭司著
脳外傷友の会全国大会資料 6 回	岡山大会	脳外傷友の会編
脳外傷友の会全国大会資料 7 回	滋賀大会	脳外傷友の会編
脳外傷友の会全国大会資料 8 回	岩手大会	脳外傷友の会編
みずほの 10 年そして明日へ	みずほ結成 11 年記念誌	
障害者権利条約で社会を変えたい		福祉新聞社
障害者権利条約・ みんながちがってみんなが一緒		日本身体障害者フォーラム
高次脳機能障害者支援の手引き		国立身体障害者リハセン
高次脳機能障害に対する支援 プログラム(家族支援の立場から)		障害者職業総合センター
熊本県高次脳機能障害検討		

悩み・要望を家族会に みんなで考え、行動しよう!!

